

柏市の地域福祉を取り巻く現状と課題(案)

- ①人口等の現状
- ②支援ニーズの現状
- ③地域福祉の支え手・地域組織活動の現状

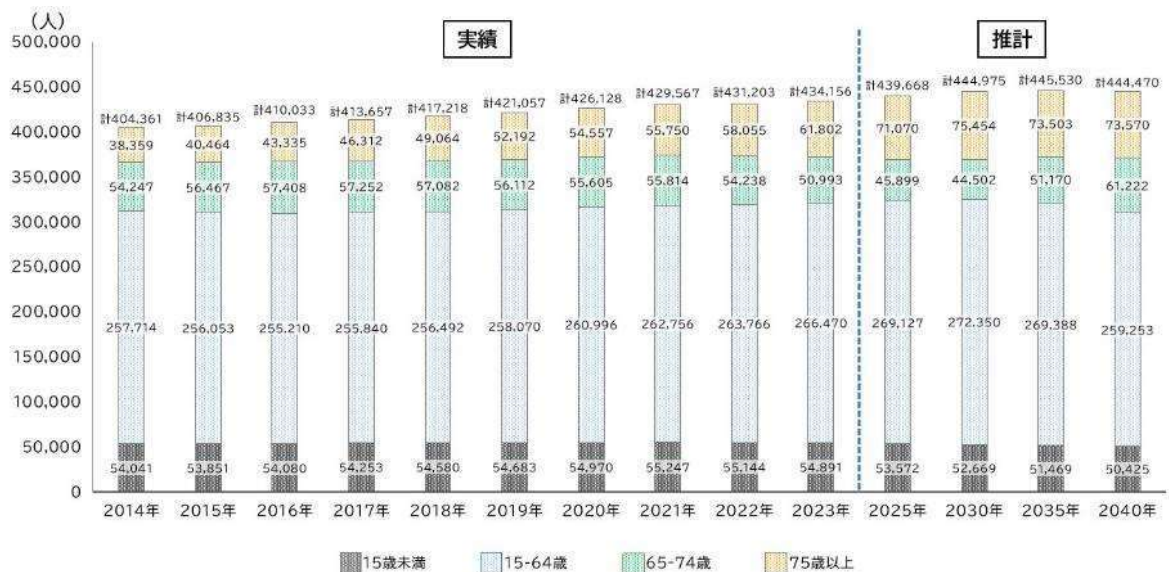
1

人口等の現状

(1) 総人口の推移と将来推計

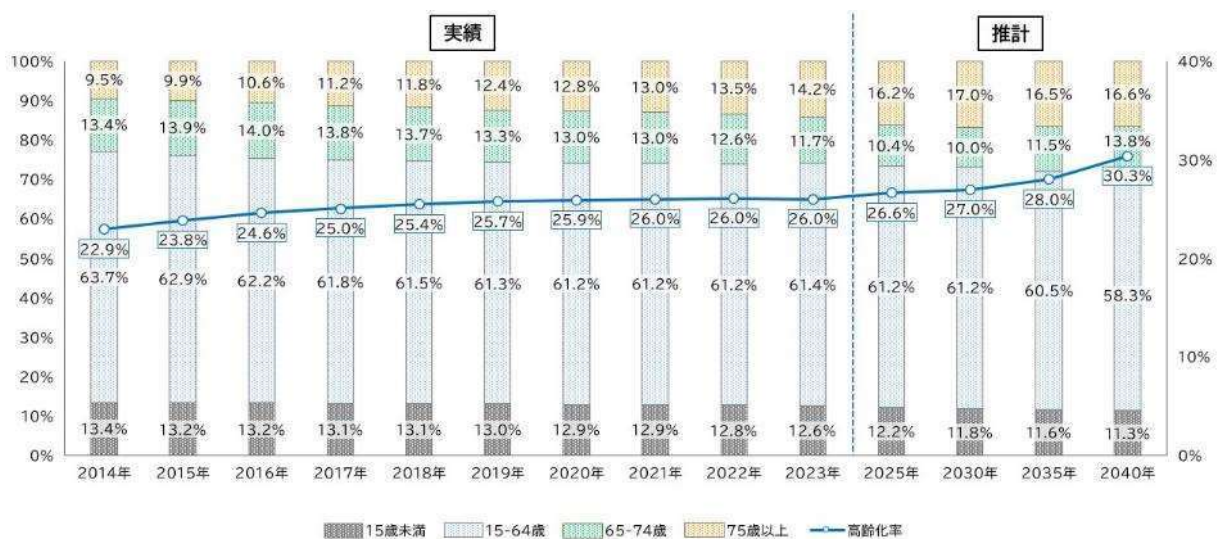
- この10年間の本市の総人口は一貫して増加し続けており、2023年の総人口は、434,156人となっています。
- 2035年までは総人口は増加することが予測され、2040年以降は減少に転じる見込みです。
- 団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年には、65歳以上の人口は、134,792人となり、総人口の3割を超えることが見込まれています。

図表1 総人口の推移と将来推計



資料：住民基本台帳／柏市将来推計人口

図表2 人口構成割合の推移と将来推計



資料：住民基本台帳／柏市将来推計人口

図表3 4エリア(北部、中央、南部、東部)別構成割合の推移と将来推計



年	北部		中央		南部		東部	
	65歳未満人口(人)	65歳以上人口(人)	65歳未満人口(人)	65歳以上人口(人)	65歳未満人口(人)	65歳以上人口(人)	65歳未満人口(人)	65歳以上人口(人)
2019年	74,678	49,655	87,412	53,413	54,869	51,277	30,370	22,229
2020年	75,272	51,208	87,446	54,686	53,858	52,357	29,984	22,828
2021年	75,919	52,750	87,089	55,492	53,226	53,258	29,618	23,473
2022年	76,074	54,455	87,066	56,727	51,811	54,379	28,932	24,177
2023年	75,423	56,149	86,659	57,922	50,575	55,262	28,230	24,982
2025年推計	98,324	34,516	111,220	34,754	74,793	32,267	38,362	15,431

資料：日常生活圏域データ／柏市将来推計人口

(2) 出生数・出生率の推移

- 出生数は増減があるものの、減少傾向で、2022年には、この10年間で初めて3,000人を下回りました。
- 2035年までは総人口は増加することが予測され、若い世代の転入も見込まれることから、出生数は急激に減少せず、緩やかな減少が見込まれます。

図表4 出生数・出生率の推移

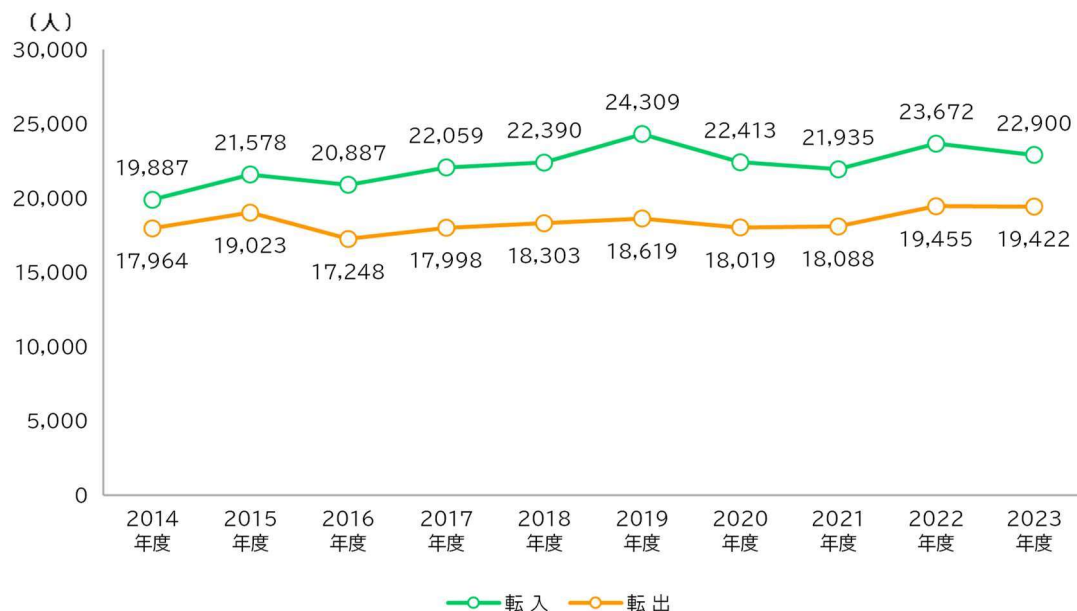


資料：柏市統計書

(3) 転入・転出者の推移

- 本市では、転入者数が転出者数を上回る「転入超過」が続いています。
- 「転入超過」の状況は、2035年以降も長く続くとみえています。

図表5 転入・転出者の推移

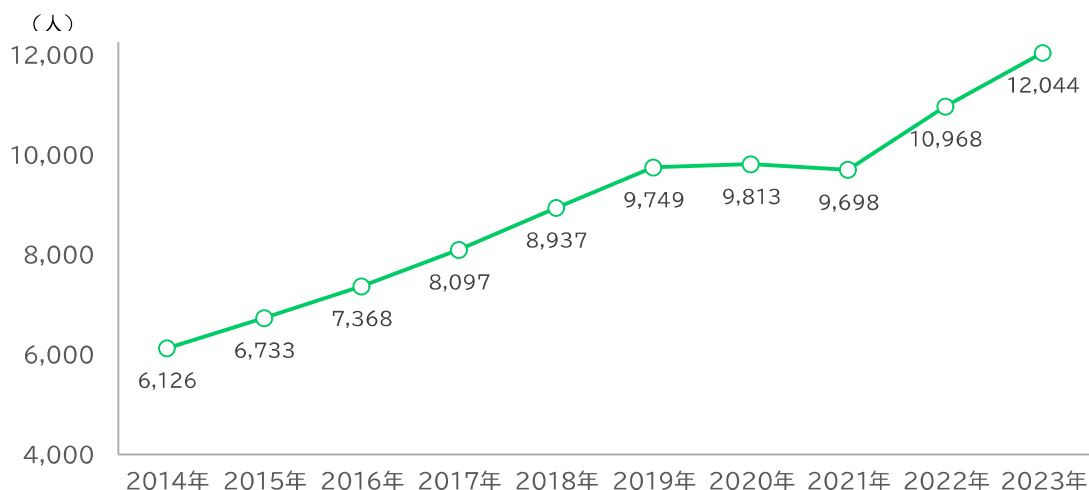


資料：柏市統計書

(4) 外国人住民の推移

- 外国人住民の人数は、2013年以降概ね増加傾向が続いており、2022年には1万人を超えています。

図表6 外国人住民の推移



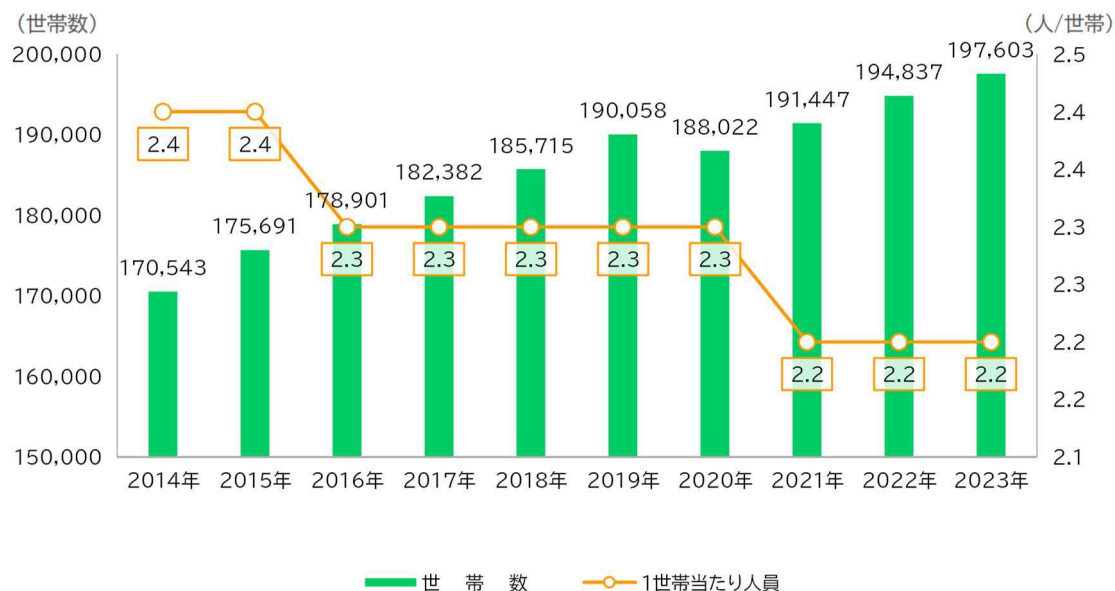
※平成24年7月9日住民基本台帳法改正により、外国人住民についても住民基本台帳法の適用対象(改正前は外国人登録法による登録制度)となったことから、対象者及び一部国籍・地域に変更あり。

資料：柏市統計書

(5) 世帯の推移

- 世帯数は年々増加傾向にあり、この10年間で27,060世帯の増加となっています。
- 一方で、1世帯当たりの人員については年々減少し続けており、2023年で2.2人となっています。

図表7 世帯の推移



資料：柏市統計書

(6) 一人暮らし高齢者の推移

- 本市のひとり暮らし高齢者は、2018年には24,510世帯でしたが、2023年には29,594世帯であり、高齢者人口に占める割合は、26.2%です。

図表8 高齢者のみ世帯の推移



資料：第9期柏市高齢者いきいきプラン21

(7) ひとり親世帯の推移

- ひとり親世帯は年々減少しており、2020年で1,765世帯となっています。

図表9 ひとり親世帯の推移

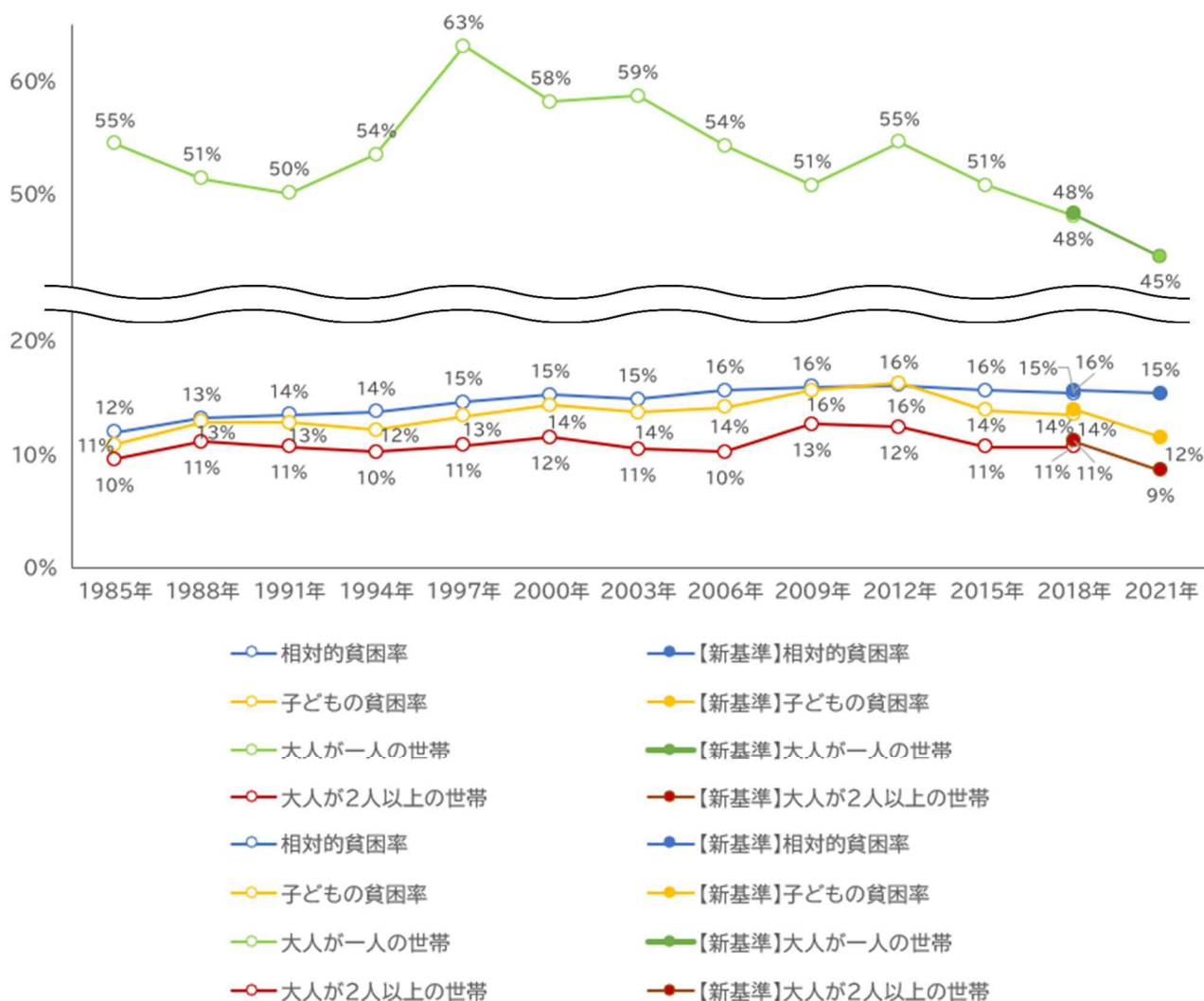


資料: 国勢調査

(8) こどもの貧困率

- 全国的傾向として、こどもの貧困率は2015年以降減少傾向にあります。相対的貧困率は緩やかに上昇傾向にあります。

図表10 こどもの貧困率



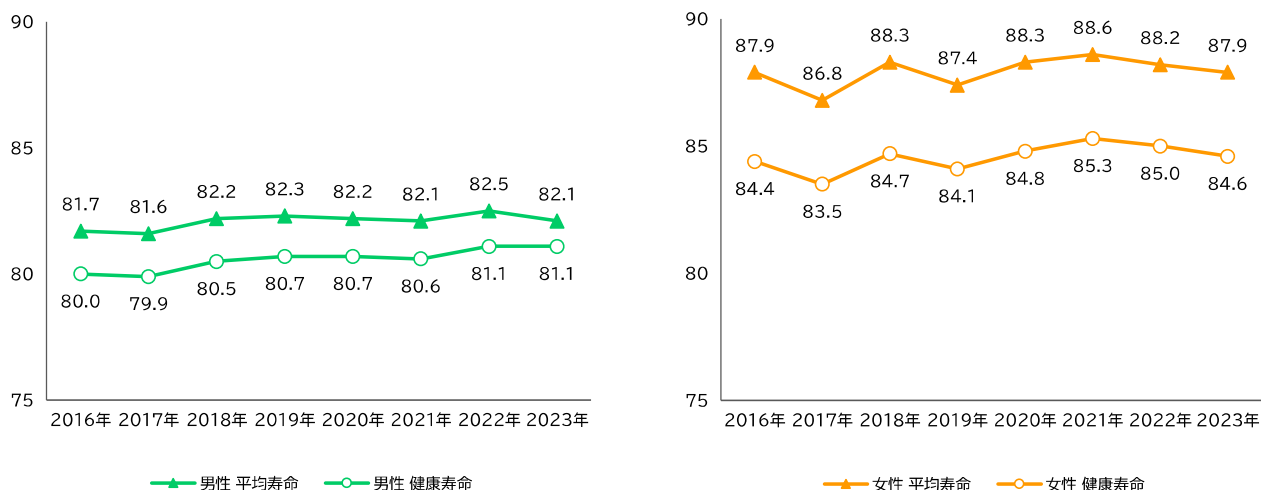
※相対的貧困率とは、相対的貧困率は、一定基準(貧困線)を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合

資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」

(9) 平均寿命・健康寿命の推移

- 2023年の男性の平均寿命は82.1歳、健康寿命は81.1歳であり、平均寿命と健康寿命の差が1歳で短縮傾向にあります。女性の平均寿命は87.9歳、健康寿命は84.6歳であり、平均寿命と健康寿命の差が3.3歳で横ばい状況です。

図表11 平均寿命と健康寿命の推移



資料：KDB国保データベース

(10) 要介護認定者の推移と見込み

- 要介護認定者数は2020年には 18,145 人です。
- 後期高齢者の増加が見込まれ、2040年には、認定者に占める要支援及び要介護1から2の割合が減少する一方、医療・介護ニーズの高い要介護3から5の割合が増加する見込みです。

図表12 要介護認定者の推移

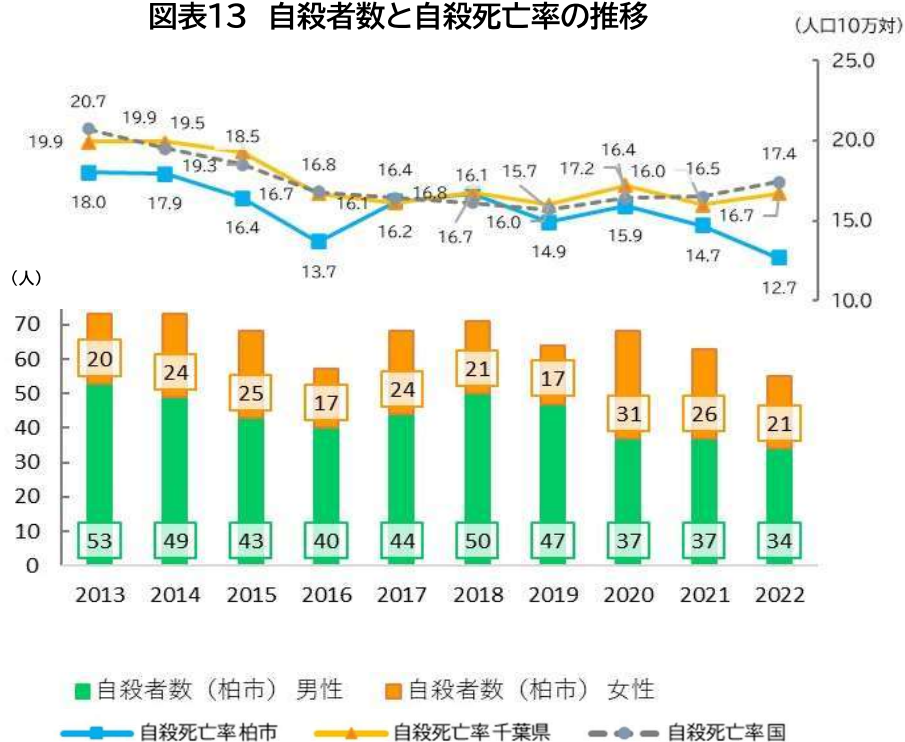


資料：第9期柏市高齢者いきいきプラン21

(11) 自殺者数の推移

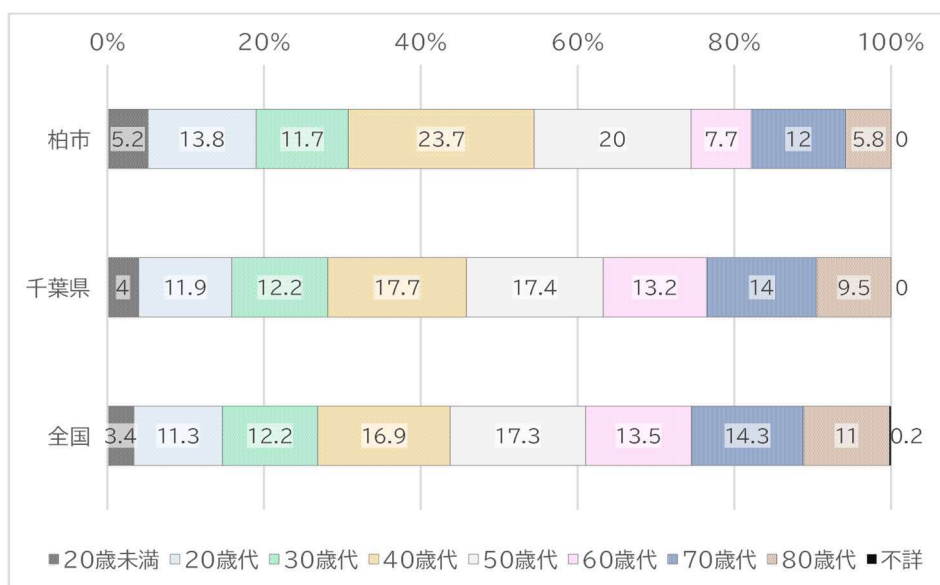
- 2022年の柏市の年間自殺者数は55人となっており、ここ数年おおむね減少傾向にあります。
- 年代別でみると、全国、県と比較して柏市は20代以下が占める割合が高い傾向にあります。

図表13 自殺者数と自殺死亡率の推移



資料：人口動態統計(厚生労働省)のデータを基に作成

図表14 自殺者の年齢構成(平成30年～令和4年)



資料：地域における自殺の基礎資料

2 支援ニーズの現状

(1) 障害者手帳所持者数の推移

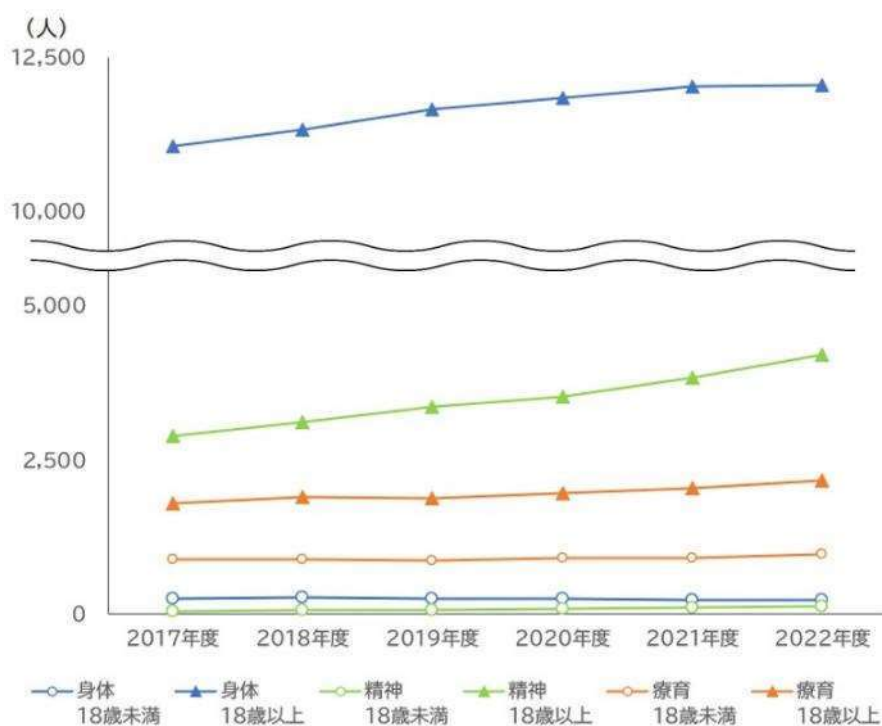
- 身体・知的・精神障害の手帳所持者数はいずれも増加しており、5年間でおよそ2,800件の増加になっています。
- 手帳保持者全体の中では精神障害の手帳保持者の割合が増えてきています。

図表1 障害者手帳所持者数の推移(全体)



資料：障害福祉統計書

図表2 障害者手帳所持者数の推移(年齢別)

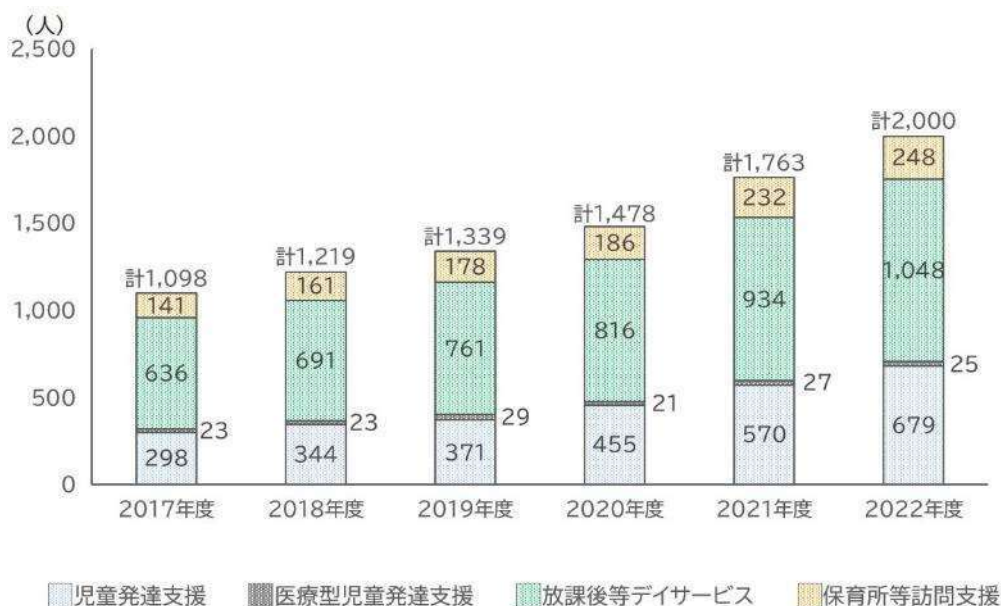


資料：障害福祉統計書

(2) 放課後等デイサービス利用者・児童発達支援利用者の推移

- 児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の利用者数は、いずれも増加しており、2022年度では2,000件となっています。

図表3 放課後等デイサービス利用者・児童発達支援利用者の推移

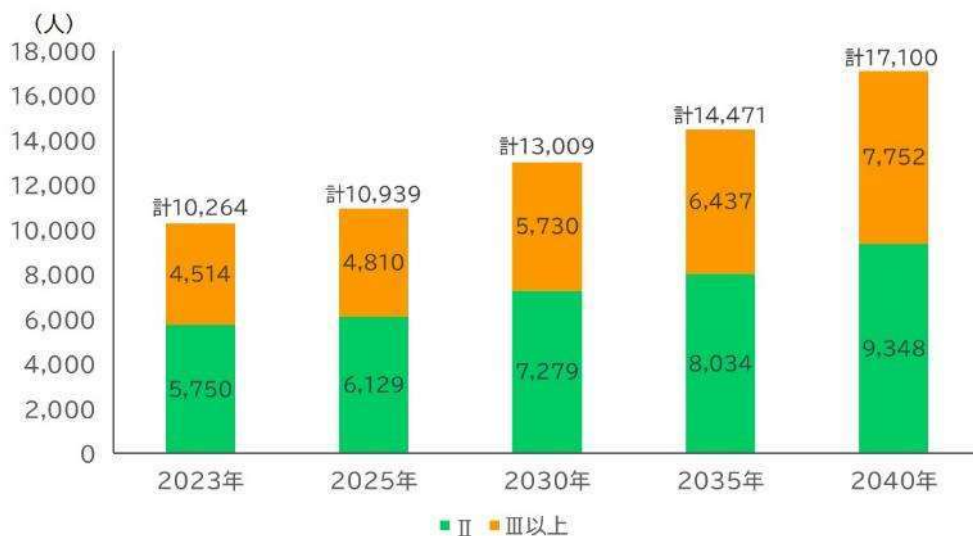


資料：障害福祉統計書

(3) 認知症高齢者と将来の見込み

- 認知症自立度Ⅱa以上※の高齢者は、2023年の時点で、10,264人となっています。
- 2025年以降、高齢者割合の増加に合わせて増えることが見込まれており、2040年には、17,100人になる見込みです。

図表4 認知症高齢者の状況



※日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難が出現している状態

資料：第9期柏市高齢者いきいきプラン21

(4) 児童相談・児童虐待相談件数

- 児童虐待に関する相談対応件数は、令和元(2019)年以降およそ1,700～1,800件程度で推移しています。
- そのうち、虐待に関する相談件数は増えてきており、令和3(2021)年以降およそ1,000件程度になっています。

図表5 児童相談・児童虐待相談件数



資料：こども相談センター

(5) DV（ドメスティック・バイオレンス）相談件数

- DVの相談件数は2020年度に大きく減少しましたが、以降400件弱程度で推移しています。

図表6 DV相談件数

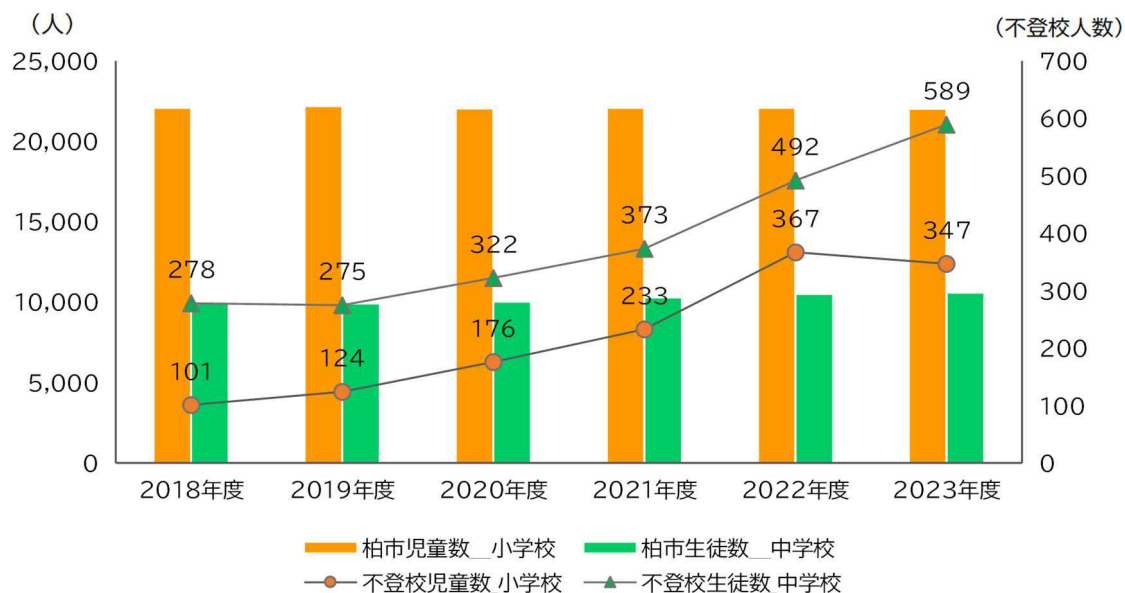


資料：男女共同参画推進計画実績報告書

(5) 不登校児童・生徒数の推移

- 不登校児童・生徒数は、いずれも増加傾向にあります。
- 特に、小学校児童の不登校数が増えてきており、2017年から2022年にかけて305人の増加となっています。

図表7 不登校児童・生徒数の推移



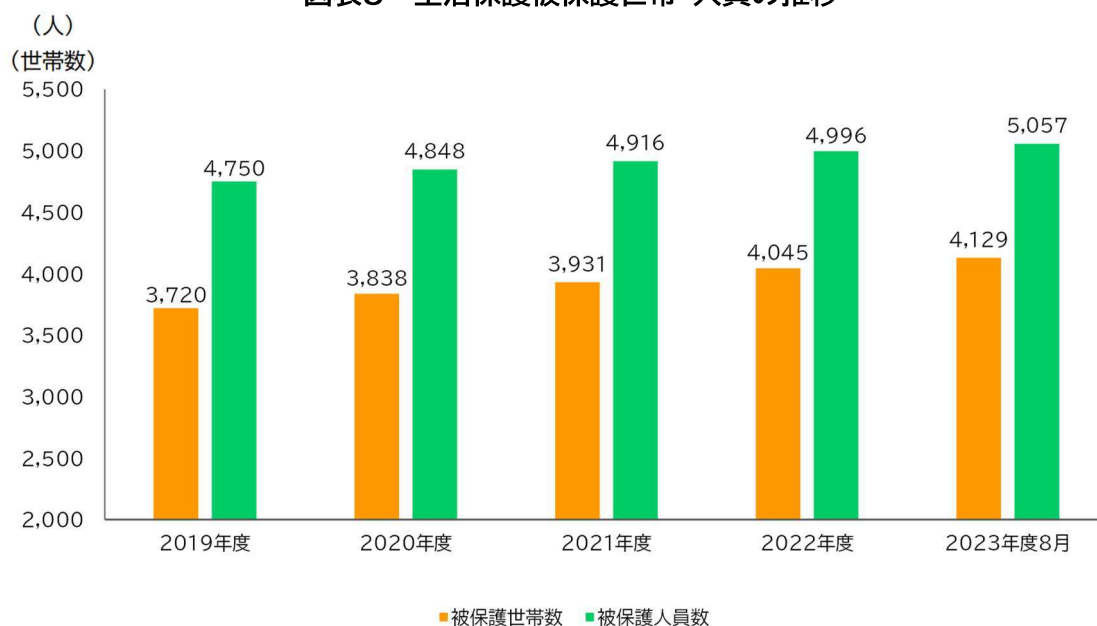
※何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者(ただし、「病気」や「経済的な理由」による者を除く。)

資料：児童生徒課

(6) 生活保護被保護世帯・人員の推移

- 生活保護の被保護世帯・人員は年々増加し続けており、2018年から2023年にかけて被保護世帯数は503世帯、被保護人員は423人の増加となっています。

図表8 生活保護被保護世帯・人員の推移

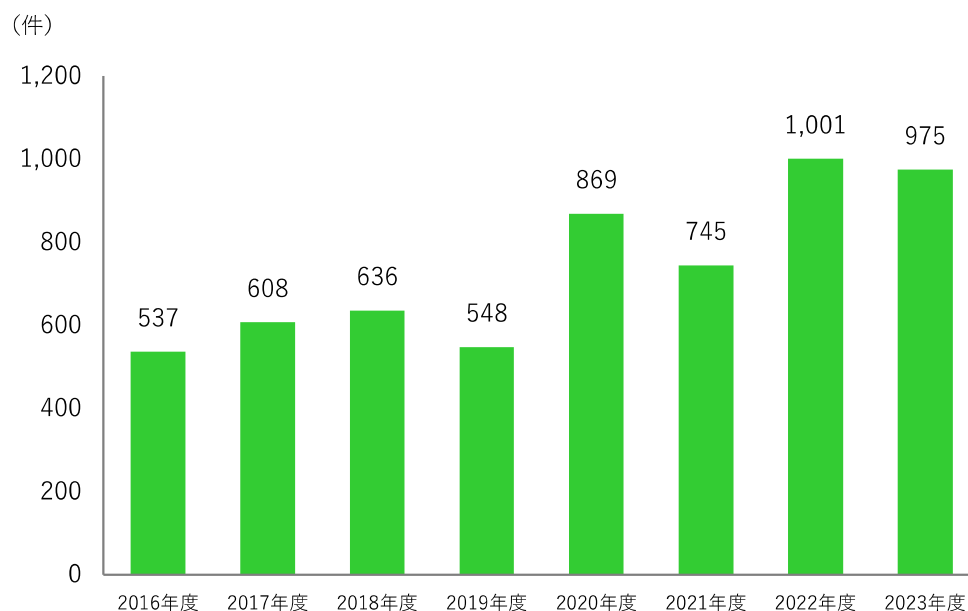


資料：柏市統計書

(9) 生活困窮相談件数

- さまざまな事情で経済的に困りの方からの相談は、新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年以降これまでの1.5倍程度に増加し、2022年には1000件を超える新規の相談がありました。

図表9 生活困窮相談件数の状況



資料：生活支援課

3 地域福祉の支え手・地域組織活動の現状

(1) 民生委員・児童委員活動状況の推移

- 民生委員・児童委員の委嘱者数は、2022年度は539人になっています。
- コロナ禍の影響で、直近3年は訪問数が大きく減少しています。
- 相談件数は、直近3年は増加に転じています。

図表1 民生委員・児童委員活動状況の推移

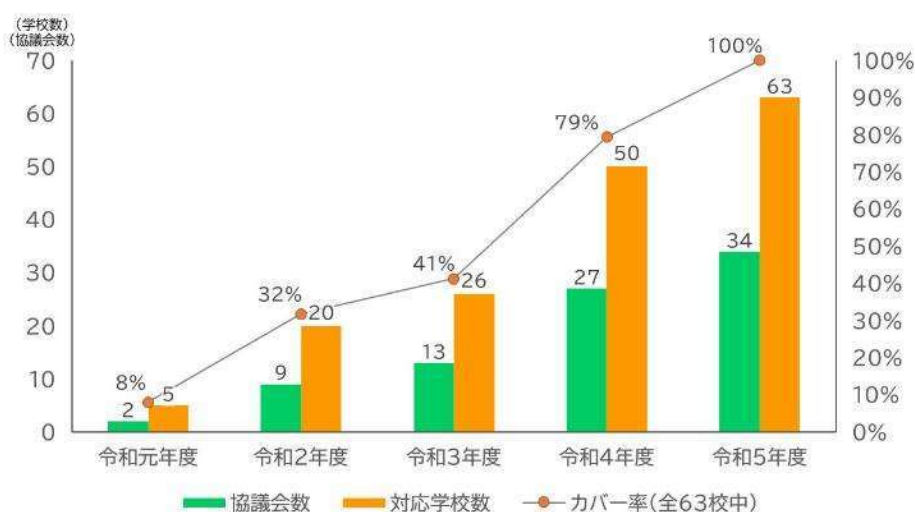


資料：柏市民生委員児童委員協議会

(2) コミュニティ・スクール設置状況

- コミュニティ・スクールの設置校は、2023年時点で、全ての学校に設置されています。

図表2 コミュニティ・スクール設置校数



*コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことで、学校運営協議会とは、地域住民や保護者、教師などが集まり、地域の学校に通う地域の子どもたちがどのように育ってほしいか、そのために何ができるかを話し合い、知恵を出し合う合議制の組織です。

資料：学校教育課

(3) 「支えあい活動」団体数の推移

- 「支えあい活動」の団体数は年々増加し続けており、2017年度から2022年度にかけて64団体増加し、368団体となっています。
- サロン※等居場所も2017年度から増加しており、2022年度には297か所となっています。

図表3 「支えあい活動」団体数の推移



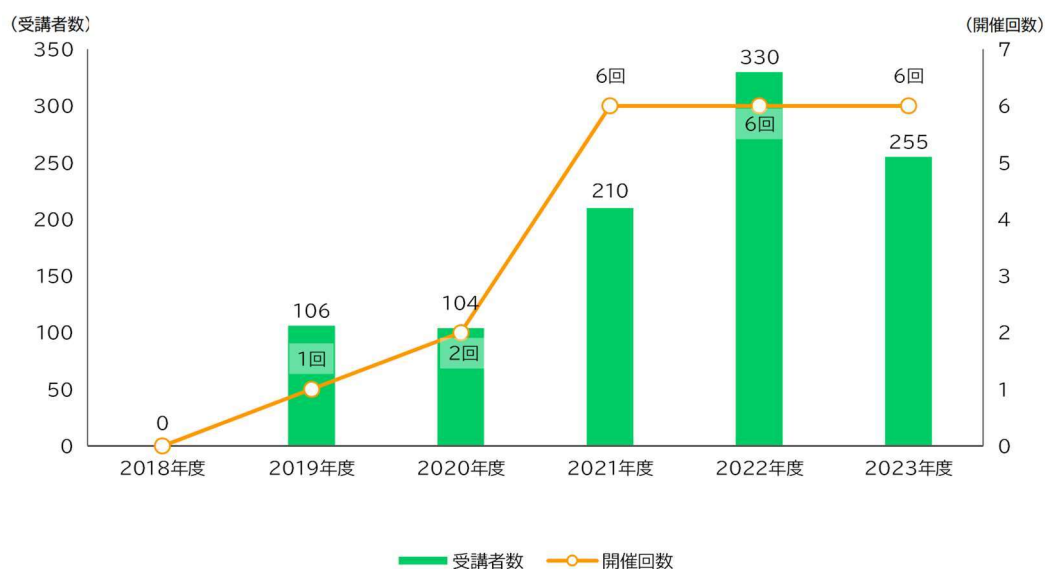
※サロン:地域の中で、仲間づくりや異世代交流等を目的とした、地域住民が運営するふれあいの場のこと。

資料: 柏市社会福祉協議会

(4) ゲートキーパー研修の開催回数・受講者数

- ゲートキーパー*の育成に向けた研修は、2023年で5回行っており、受講者数は255人となっています。

図表4 ゲートキーパー研修の開催回数・受講者数



*ゲートキーパー:「自殺のリスクにつながるような悩みに気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげ、見守る人」のこと

資料: 福祉政策課

(5) 成年後見制度利用者数

- 成年後見制度*の利用者数は、増加傾向にあり、2022年度で、299人となっています。
- 内訳では、高齢化に伴い、「高齢者」の利用数が増えてきています。

図表5 成年後見制度利用者数



*成年後見制度：認知症や知的障害・精神障害等のために、ご自身で判断する能力が不十分な方を、財産管理や身上監護を通じて保護し支援する制度で、2000年4月にスタートした制度

資料：社協事業報告書等

(6) 町会加入世帯数・加入率の推移

- 町会への加入世帯数・加入率は減少傾向にあり、2023年度で、122,525世帯で加入率は、62.5%となっています。

図表6 町会加入世帯数・加入率の推移

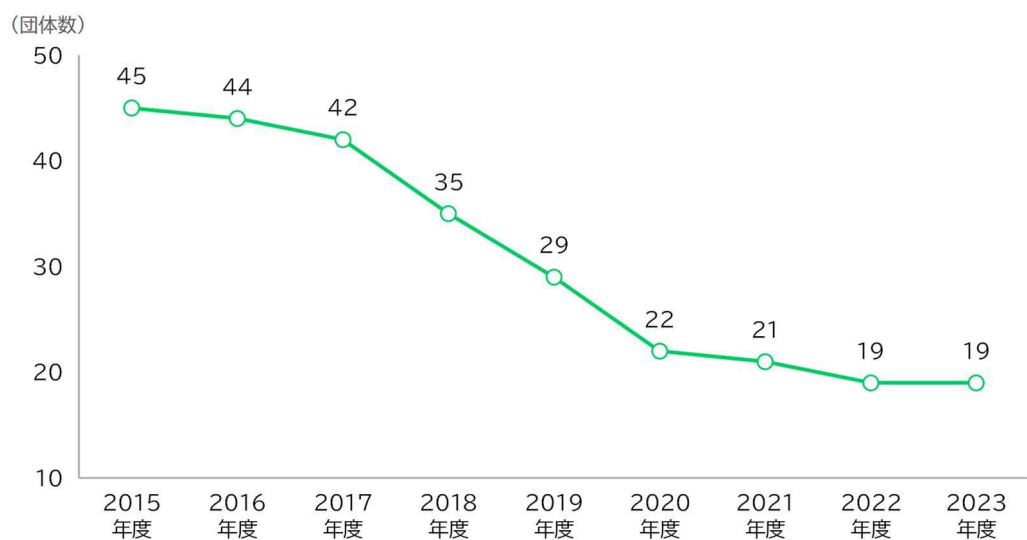


資料：市民活動支援課

(7) 子ども会団体数の推移

- 子ども会団体数*は2015年度以降減少傾向にあり、2022年度で19団体になっています。

図表7 子ども会団体数の推移



*各年度3月31日時点の柏市こども会育成連絡協議会加入団体数

資料:生涯学習課

(8) 老人クラブ・加入者数の推移

- 老人クラブ数及び加入者数はともに減少傾向にあり、2023年度時点で67クラブ、加入者数は3,591人となっています。

図表8 老人クラブ・加入者数の推移

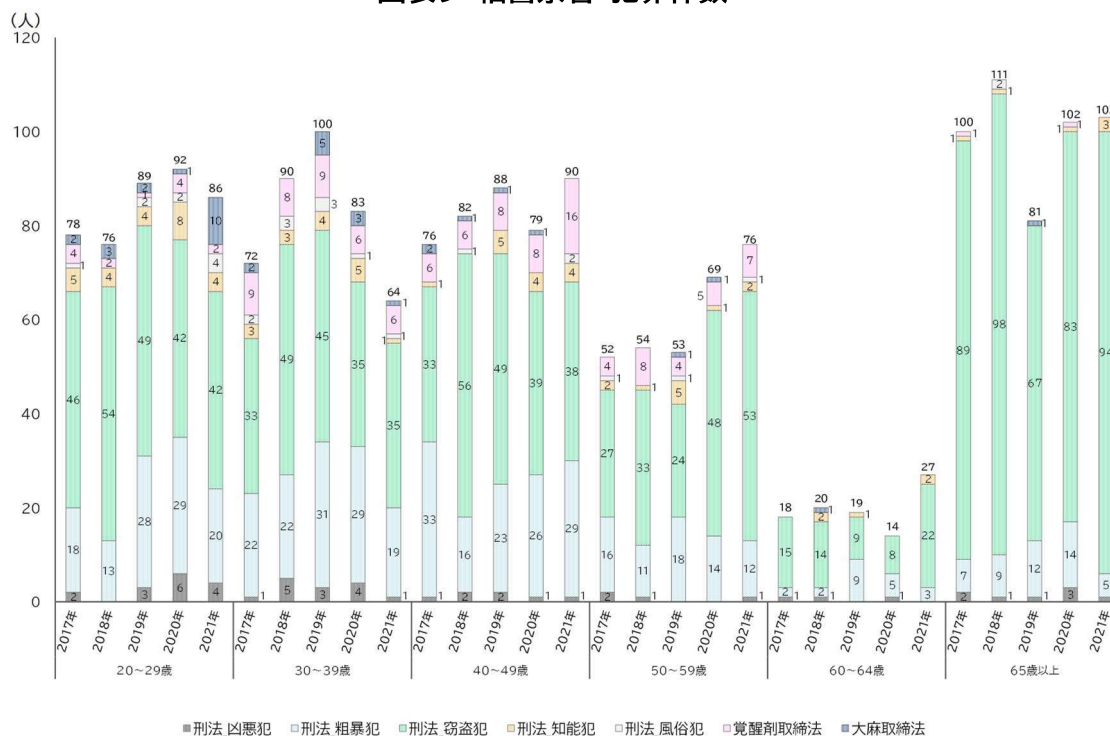


資料:高齢者支援課

(9) 犯罪件数の推移

- 警察庁が取りまとめている犯罪統計書に記載される柏警察署管内の検挙人数の推移を年代別にみると、20代・30代の検挙人数はおおむね減少傾向にあります。40代以上は概ね増加傾向にあります。
- 検挙理由の内訳としては、どの年代も「窃盗犯」の割合が多くなっています。

図表9 柏警察署・犯罪件数



資料： 法務省矯正局

(10) 保護司の推移

- 法務大臣からの委嘱を受け、犯罪や非行をした人たちが再び罪を犯さないようその立ち直りを地域で支える保護司の方は、現在93人います。

図表10 柏市保護司人数



資料： 社協事業報告書等